



協定書を手に棚野町長と今井支店長（右）

TOPIC 4
11/26
町民の健康づくり目的
町と大塚製薬が包括連携協定締結

町と大塚製薬株式会社（札幌支店）は、町民の健康づくりなどを目的とした包括連携協定を結びました。協定により健康まつりなどのイベントを協働で行うほか、食育や熱中症などに関する講座や研修会で、大塚製薬の社員に講演をしていただくことができます。役場で行われた締結式では、棚野孝夫町長と今井慎也札幌支店長が協定書に署名しました。今井支店長は「締結を機に、一層役立てるよう努めていきたい」と話していました。

TOPIC 5
11/26
コープさっぽろ農業賞の漁業大賞にたこ縄部会
第11回コープさっぽろ農業賞表彰式

第11回コープさっぽろ農業賞の表彰式が札幌パークホテルで開催され、漁業賞部門の大賞に「白糠漁業協同組合 たこ縄部会」が選ばれました。同賞は、道内の生産者を消費者の視点から応援し表彰するものです。式では同組合の芦田廣康専務が北海道漁業協同組合連合会の菊池元宏代表理事副会長から表彰状を受け取りました。芦田専務は「このたびの受賞を励みに、これからも持続可能な漁業の継続に向けて一層の努力をしていきたい」と話していました。



菊池代表理事副会長と賞状を手にする芦田専務（右）

TOPIC 6
11/28
町の魅力や課題解決策を提案
「明日の青少年を考える集い」

ふるさと教育や青少年健全育成に対する理解を深める「明日の青少年を考える集い」が社会福祉センターで開催されました。ふるさと教育報告会では、町内各学校7組が発表。白糠小学校は「白糠の食の魅力」をテーマに、海産物や酪農、シソなどについて調べたことを発表。庶路学園は、まちの人口減少を課題に挙げ「年中子どもが遊べる施設を建てて、そこにバイキングを併設させて大人も楽しめるようにする」ことを提案していました。



白糠小学校による「ふるさと教育報告会」の様子

TOPIC 1
11/20
これまでの学習の成果を披露
白糠養護学校「学習発表会」

白糠養護学校（仲條正輝校長）は「学習発表会」を開催し、生徒たちが保護者を前にこれまでの学習の成果を披露しました。高等部では、将来の生活や仕事について思いを馳せている生徒たちが、喫茶店で働く様子を発表。中学部では、毎日を元気に笑顔で過ごしたいという要望に応えるという設定で、音楽やダンスなどさまざまなプランを提案しました。生徒たちの元気いっぴいな発表に保護者からは温かい拍手が送られていました。



高等部3年生による「おわりのあいさつ」の様子

TOPIC 2
11/21
悲惨な交通事故をなくすため
交通安全町民大会

交通安全町民大会が社会福祉センターで開催され、町民約160人が交通安全意識の向上に努めました。大会では白糠交番所の小菅一範所長が講話。小菅所長は「夜出歩くときは、明るい服装で夜光反射材を付けること。車を運転するときは、スピードダウンとハイビームを心がけることが重要」と話していました。講和後の「ポンちゃん一座の交通安全教室」では、交通安全をテーマに腹話術を使った演劇で、楽しく交通安全について学びました。



腹話術演劇で交通安全を呼び掛けるポンちゃん一座

TOPIC 3
11/21
男性目線での子育て
家庭教育について学びあう
家庭教育カフェ

フォークデュオ「ヒートボイス」の目黒広幸さんが講師を務める「家庭教育カフェ」が公民館で開催され、子育て中の保護者13人が家庭教育について学びました。目黒さんは「夫婦で互いに理解し合いながら、できることを一緒にやっていくことが大事」などと自身の体験談を交えて講話。最後には、講話の題目「家族で奏でるハーモニー」をテーマにした曲を披露しました。参加した阿部真希子さんは「男性目線でのお話が聞けたので、とても良かったです」と話していました。



3曲の歌を披露した目黒さん